

# 歯学教育の質の評価について

# 社会的要請の特に高い分野 における人材養成

- 医療系人材等の社会的な要請のとくに高い分野における
  - ・教育課程の充実
  - ・教育活動の評価
  - ・社会との連携等

人材養成のあり方について

# 多様なニーズに対応する大学教育を実現するための質保証システムの在り方

- 多様なニーズに適切に対応した教育活動を展開するためには、質保証システムが不可欠
- 学生の達成すべき学習成果の明確化
- 今後の設置認可、自己点検・評価、認証評価、分野別評価等を通じて、大学教育の質保証システムをどう構築すべきか？

- OECD(経済協力開発機構)等において、大学に対する様々な評価活動が世界的規模で行われようとしている。

大学の評価における国際的な視点の導入と、世界的規模での大学に関する評価活動への対応が必要

# すべての研修を100%としたときの 研修方略の内訳

	座学	実習	見学	アシスト	自験	その他
研修歯科医	9 (9)	13 (11)	17 (17)	31 (29)	29 (32)	2 (2)
単独・管理型 施設	10 (10)	23 (17)	15 (15)	21 (21)	30 (35)	1 (2)
協力型施設	10 (10)	24 (24)	20 (21)	27 (25)	18 (18)	2 (1)

( )内は平成18年度データ

# 協力型研修施設が望むこと

## 研修歯科医へ(197)

- ①積極性(60)
- ②研修歯科医としての自覚(58)
- ③コミュニケーション能力の向上(14)

## 管理型施設へ(168)

- ①卒前臨床実習・初期研修の充実(45)
- ②情報提供(28)
- ③受け入れ期間と時期(13)
- ④マッチング(7)

# 歯学教育の質の評価

- 知識領域

各科目試験 → 共用試験 → 卒業試験 → 国家試験

- 技能・態度領域

基礎模型実習 → 卒前臨床実習 → 臨床研修 → 専門医



共用試験OSCE



終了時OSCE

# 歯学教育の質に関する 第3者評価システムについて

- グローバル化に対応しつつも、我が国に相応しい  
Accreditation の策定
- 自己点検・評価の限界
- Peer Review システム
- 特に技能教育について

基礎模型実習等の初期段階からの継続的な評価が必要